

# 農林水産商工委員会資料

(農林水産部・商工労働部共管分)

■主要施策の概要及び課題について

・・・P 1～3

■報告事項

①国際貿易港浜田港の現状及び荷主に対する緊急支援等について・・・P 4

令和3年5月19日・20日

農 林 水 産 部

商 工 労 働 部



# 主要施策の概要及び課題

( 農林水産部・商工労働部共管分 )



## 【主要施策の概要及び課題】

〔しまねブランド推進課〕

1. 事業名 地域資源を活かした産業の振興

2. 事業費 137,646千円

### 3. 事業概要

食品製造事業者の人材育成や経営基盤強化に向けて、それぞれに抱える経営課題に合わせた段階的な支援メニューや事業者に寄り添った支援体制を構築し、食品製造業を核とした地域経済循環の活性化を推進する。

しまねの工芸品の魅力が伝わるよう情報発信を強化するとともに、消費者ニーズの変化などにも対応できるよう後継者の確保や育成を図る。

#### 【成果目標】

- 県の支援策を利用した食品製造事業者の雇用の増加（R2年度からの累計）  
R6年度の目標 140人（参考：R元年度の雇用者数増 59人）
- 伝統工芸における新たに確保した後継者（R2～6年度の単年度値）  
単年度の目標 2人（参考：R元年度の実績 1人）

#### (1) 食品産業の振興 [124,815千円]

- 強くしなやかな食品産業づくり事業
  - ・企業の経営基盤強化に向けた研修、専門家派遣を実施
  - ・商工団体との連携により、食品製造事業者の経営計画策定や課題解決を支援
  - ・強い経営基盤を持つ食品製造事業者の外貨の獲得や県産原材料使用の拡大等を支援し、地域経済循環を活性化させるモデルを創出
  - ・HACCPに沿った衛生管理のための研修会や相談窓口設置を実施
- 加工食品外貨獲得支援事業
  - ・バイヤーを招聘した商談会、産地視察等を実施
  - ・全国規模の食品専門展示会への出展を支援
  - ・しまね県産品販売パートナー店等のアドバイスによる商品改良等を支援

#### (2) 伝統工芸の振興 [12,831千円]

- 未来へつなぐ工芸品総合振興事業
  - ・県内外で開催される展示会等への出展を支援
  - ・島根県ふるさと伝統工芸品の製造に従事しようとする者を雇用する事業者に対し、雇用者の研修教育を行うための資金の貸付
  - ・伝統工芸品の情報発信

### 4. 課題

- ・食品産業は全ての市町村に立地し地域経済を支える重要な産業だが、小規模事業者が多く単独での経営課題解決が難しい状況。商工団体や市町村との連携により、事業者の経営基盤強化や商品力向上、販路拡大などを継続的に支援し、県内全域において地域経済をけん引する事業者を育成することが必要
- ・伝統工芸の事業者の多くは規模が小さく、後継者を育てていくための経費が負担となっていることから、事業継続及び拡大には継続的な支援が必要

【主要施策の概要及び課題】

〔しまねブランド推進課〕

1. 事業名 飲食需要回復・拡大支援事業

2. 事業費 600,000千円（うち2月補正 600,000千円）

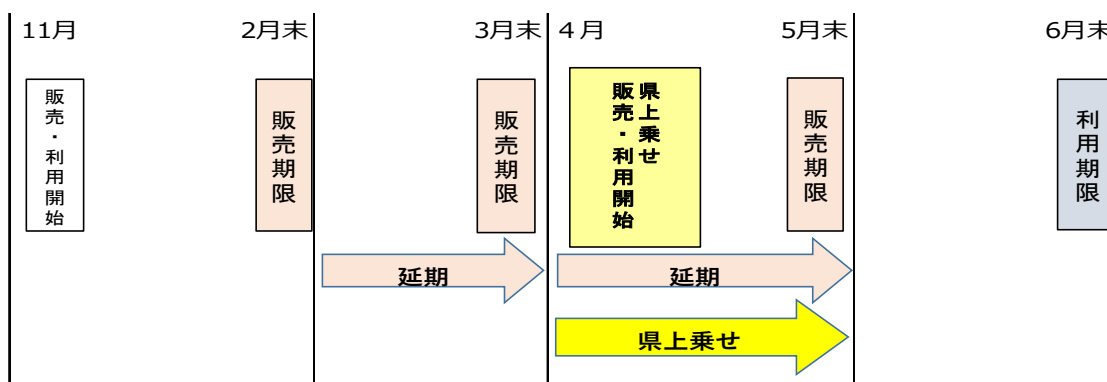
3. 事業概要

「Go To Eatキャンペーンしまね」における飲食店での消費喚起による経済効果を高めるため、県独自のプレミアム上乗せをGo To Eatキャンペーンしまね食事券事務局への補助により実施

【成果目標】

県独自に上乗せする食事券を券面額30億円分販売

○事業内容



	県上乗せ前	県上乗せ (実施中)	販売残
発行冊数	100万冊		
販売期限	5月末		
利用期限	6月末		
販売実績・見込み	約30万冊	50万冊	残 約20万冊
1冊あたり販売額	4,000円	4,000円	—
1冊あたり券面額	5,000円	6,000円	—
プレミアム率・額	国25% 1,000円	国25% 県25% 国1,000円 県1,000円	—
額面×冊数	約15億円	30億円	—
県予算額	なし	6億円 (プレミアム5億+事務費1億)	—

4. 課題

- ・飲食店での消費喚起を効果的・効率的に継続するため、国によるキャンペーンの期間延長、効果的なプレミアム率の設定が必要
- ・飲食店における感染防止対策の更なる徹底

【主要施策の概要及び課題】 [しまねブランド推進課海外展開支援室]

1. 事業名 海外展開支援

2. 事業費 170,202千円

3. 事業概要

海外への事業展開や輸出等により海外需要を取り込もうとする企業を支援するとともに、県内唯一の国際貿易港である浜田港を利用した貿易の拡大を図る。

【成果目標】

- ・貿易企業数 R1：224社 → R6：234社
- ・コンテナ数 R1：4113TEU → R6：6000TEU  
※TEU：20フィートコンテナで換算したコンテナの数量を表す単位
- ・県の支援を受けて海外展開を行った企業の付加価値額の増加額 28億円  
(R2年度からR6年度までの累計)

(1) 海外展開促進支援事業 [50,465千円]

- ①関係機関と連携した県内企業の貿易支援
  - ・しまね産業振興財団、ジェットロ松江と連携した企業支援活動
  - ・境港貿易振興会と連携したポートセールス活動
- ②食品の輸出販路開拓支援
  - ・欧米、東アジア、アセアン等への販路開拓、越境EC事業等を実施

(2) 浜田港ポートセールス推進事業 [28,499千円]

- 浜田市と連携し、浜田港振興会のポートセールス活動を支援
- ①国際コンテナ航路の利用促進
    - ・国際コンテナ航路を利用した輸出入貨物の増加に向けた荷主等への支援
  - ②浜田港創貨対策
    - ・新たな輸出入案件発掘から継続的取引に至るまでの一貫した活動を支援

(3) しまね海外ビジネス展開支援事業 [91,238千円]

- ①島根・ビジネスサポート・オフィス（タイ・バンコク）の運営
  - ・県内企業への情報提供やアドバイス、現地サポートを実施
  - ・アセアンの海外展開支援強化のため、タイへ職員を派遣
- ②グローバル戦略構築支援事業
  - ・海外展開に向けたセミナー、勉強会等の開催
  - ・海外展示会への出展、商談会の開催
  - ・WEBを活用した海外への企業、製品のPR
- ③しまね海外展開支援助成事業
  - ・県内企業の海外への事業展開や販路開拓に向けた取組を支援
- ④支援機関の共同事務所設置運営【新規】
  - ・JETRO松江、しまね産業振興財団、県の3機関を「しまね海外ビジネスサポートセンター」として共同事務所化

(設置：令和3年4月1日、場所：松江市殿町8-3 島根県市町村振興センター5F)

4. 課題

- ・当面、海外渡航が困難であることから、オンライン商談会などWEBを活用した取り組みを講ずる必要がある。
- ・浜田港については、世界的なコンテナ不足を背景とした運賃高騰や定期航路の減少(週2便→週1便)の影響を受けている状況であり、荷主への支援を拡充するとともに、船社に対し寄港回数の増を働きかけていく必要がある。





# 報 告 事 項

(農林水産部・商工労働部共管分)



## 国際貿易港浜田港の現状及び荷主に対する緊急支援等について

### 1. 浜田港を取り巻く状況

(1) R2年度の浜田港コンテナ航路の利用実績は、4,539TEU(対前年比110%)と過去最高を記録

※TEU=20フィートコンテナで換算したコンテナの数量を表す単位

(2) 一方で、H13からコンテナ船を配船していた南星海運(本社：韓国)が3月末で航路休止し、現在はH31に航路を開設した長錦(シノコー)商船(本社：韓国)の週1便のみとなり、荷主にとって浜田港の利便性が低下

(3) 加えて、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に世界的にコンテナが不足。これによりコンテナの運用効率の悪い地方港の船賃が高騰している状況であり、門司港、神戸港など主要港への貨物の流出を懸念

### 2. 浜田港発展に向けた対応

(1) 船会社に対して、航路の安定維持、将来の2便化を働きかけるとともに、大口荷主や新規荷主へのポートセールスを強化

(2) 運賃高騰に対する当面の緊急措置として、荷主のコスト上昇分の一部を支援

#### 【支援内容】

補助金額	航路利用1TEUあたり1万円(冷蔵コンテナの場合は2万円) ※上限200TEU(1社最大200万円)
実施期間	令和3年4月1日から9月30日に輸出入したコンテナ貨物を対象
実施主体	浜田港振興会
予算見込	15,750千円 ※令和2年度上半期コンテナ実績を基に算出
財源	浜田港振興会の既定予算から支出

#### <参考>

##### ●浜田港振興会

ハード、ソフトの両面にわたる港湾施策の推進を図るため、平成6年2月に島根県、浜田市、会員企業出資により設立

会 長 浜田市長

副会長 浜田商工会議所会頭、益田市長、江津市長、島根県商工労働部長、同土木部長

主な活動 広報宣伝活動／各種プロジェクト事業／情報収集事業